

令和5年度 第1回四日市市文化財保護審議会 議事録

日 時：令和5年8月9日（水） 14時～
場 所：四日市市指定有形文化財
「旧四日市市役所四郷出張所（四郷村役場）」

【出席者】

桐生定巳会長 上野秀治副会長 木村裕之委員 平山大輔委員 鬼頭秀明委員
久志本まどか委員 神野恵委員 井上喜久男委員 瀧川和也委員
柳澤宏江委員 道田美貴委員 清水弘子委員 (順不同)

事務局

小松威仁シティプロモーション部長 中野千幸次長兼文化課長 葛山拓也副参事兼課長補佐
清水政宏文化財 GL 石毛彩子 石田智洋 堀内祐花

【欠席者】

朝倉由希委員

【傍聴者】

2名

1. 開会

〈事務局〉 委員13名中、出席者12名と委任状出席者1名により過半数に達しているため、四日市市文化財保護審議会運営規則第6条第2項により、会議が成立しておりますことを確認しご報告する。

また、本日の事項所のうち、『4. 協議事項』につきましては、文化財の指定申請に関する協議もあり、非公開としてよろしいか。

〈委員〉 異議なし

2. 挨拶

シティプロモーション部 小松部長より挨拶

3. 報告事項

(1) 令和4年度文化財事業について（「令和4年度文化財事業報告」参照）

前回の会議より追加・変更点を太字にしている。詳細は省略し、2点の補足あり。

1点目…久留倍官衙遺跡公園管理運営事業の〈活用〉来館者数は4,875名、のべ27,269名となり3万人に近づいている。

2点目…旧四郷村役場保存整備活用事業について、耐震補強・復原修理工事が3月28日に完了した。

意見・質問 特になし

(2) 令和5年度文化財事業について（「令和5年度文化財事業報告」参照）

(1) と同様に前回の会議より追加・変更点を太字にしている（詳細省略）。

〈会長〉 久留倍官衙遺跡公園では万葉植物の写真展もあったが、植物の種類は増えているのか。現在では何種類くらい植えられているのか。

〈事務局〉 地植えでは増やしていないが、植木鉢ではボランティアの協力のもと増やす努力をしている。

〈会長〉 写真展もするくらいなので、可能なら少しずつでも増やしていけると好ましい。四日市周辺では40～50種類くらい万葉植物があり、その全ては無理でも樹木中心に増やして、万葉歌の看板も添えられると良いのではないかと思う。写真展、万葉植物のスケッチや詩を詠むなど行事を計画するのも良いのではないか。

〈事務局〉 久留倍官衙遺跡公園では少ないながらも万葉植物を植栽して、万葉集から抜粋した歌も併せて提示をしている。今回の写真展は昨年度も行ったように、万葉植物の説明をした上で自由に写真を撮って提出してもらい、それを展示する試み。植物は時期で状態が大きく変わるため、見頃である植物の発信をSNSで写真を添えて公開して毎日の様子を少しでも多くの方に知ってもらえるよう引き続き努力を重ねる。

〈会長〉 いなべ市や鈴鹿サーキット内でも万葉植物が植えられている。

〈委員〉 旧四郷村役場の改修工事がされたが、イベントがある日以外の日常的な活用について、どうするのか？サークル活動等にスペースを貸すのか？毎日イベントを行う訳にはいかないため、改修したのは良いが空き家のようになる、という状況にならないために、こういった活用方法を考えているのか。説明が欲しい。

〈事務局〉 建屋については四日市市の管理ではあるが、昭和57年の文化財指定を受けて以来、四郷地区の方々（四郷郷土資料保存会）に公開を含めて管理を委託している。これまでも毎週土曜日に公開してもらっていた。令和5年度からは展示の準備を開始し、現在でも建物の様子の変化がないか土曜日に見守りを続けてもらっている。毎週イベントをする訳にはいかないが、機会を通じて、市主催でイベントを計画しているところである。オープンの後には毎週土・日曜日に公開して、市内外の多くの人に知ってもらうために資料館として使う。さらに、資料に触れる、実物を間近で見られる、四郷地区の方々から説明を受けられるメリットから、小・中学生に向けて、ここが四日市市の近代産業の礎の地と伝える役割を担えるように活用できるように考えている。

〈委員〉 地元の保存会に委託して運用するということは、四郷地区の集会所としても使われるのか。見せるものについて、博物館のようにリピータを得る機会はないのではないかと疑問が残る。有

形文化財なので、外側はともかく、内側には現代の運用があって然るべきだと思う。展示が十分なのであれば、博物館と連携するなど、活用についてはどのように進めるか具体案をもう少し練っていただきたい。

〈事務局〉 市民への公開に関しては検討を重ねており、今後も調整していく。

〈会長〉 文化財保存活用地域計画でも四郷地区が入っていたが、その中でも関連して取り上げてあったのではないか。

〈事務局〉 四郷地区について関連文化財および保存活用区域としても村役場を拠点とした活用を考えている。

〈事務局〉 現時点では具体的な活用の計画が不明瞭と指摘を受けたが、今年度には展示作業を予定しており、年度末の折にはその状況と共に今後の具体的な計画の提示に努める。

〈委員〉 以前の四郷郷土資料館では製糸関係がしっかり展示されていたが、1階では改めて資料が展示されるのだろうか。

〈事務局〉 四郷郷土資料館での展示品は1000点以上にもなる。今回耐震補強工事を行い、その中から柳澤委員を中心にご指導いただいた文化財的価値、工事から分かったことなど、今までにプラスして四日市市の近代化の礎について展示内容が増えている。今までも旧役場1階にぎっしり詰まった状態で展示がされていたが、郷土資料保存会と月2回ほど展示内容や、なにを見せるのかを協議している。以前までの展示物を全て置くことはできないだろうと考えており、その中で収蔵庫の問題、入りきらない資料をどこに保存していくのかも含めて協議を進めている。

〈委員〉 前聞いたときには資料の目録が完成していなかったのではないか。収蔵するのであればこの機会に博物館が管理できるような目録を作っておくべき。せっかく資料が集まっていた分、大事にして空間をいろんな形で使ってもらえるようにすると良いのではないか。

〈委員〉 四郷郷土資料館で公開されていた民具は、四郷周辺の集落の生産業、紡績関係資料などの産業遺産があった。四郷郷土資料館は展示スペースとしての機能よりも、民具に触れるなど体験施設としての機能が強かった。それは現在の小学生からすれば、ある種の非日常を味わうことができるものである。修理工事のきっかけは、建物を活用したいとのことだった。例えば、2階の会議室は床が傷み10人以上乗れない状態だったが、ここを貸しスペースとしても使えるような場所を作ってほしいという要望があった。そのため、工事によって使用に耐えうる空間にした。1階の全ての部屋は、さまざまな資料で溢れていたのも、目録を作成した。基本的には目録化ができていたが、それらを1階に戻すのかは検討が必要である。1階は創建時の役場の雰囲気を残すような試みがあったが、昭和時代に出張所として使用された時の改修工事により、一部のみの復原となっている。そのため、1階は改修工事以前の体験施設としての活用を提案する。博物館に展示するまでのものではない民具を、体験できるものとして現状の整理をしながら機能させていくことを考える。また、修理工事で発見事項も多くあるので、それをど

う見せるのかについては情報収集・整理が途中であり、修理報告書も出ていないので、検討を進めなければならない。ただ、建築の歴史の視点からみると、井上委員からいただいた活用に関しての指摘に対しては、当施設はそれに耐え得るものになっている。1階は体験施設としての機能を果たせるようにしてもらえたらと思っている。

〈事務局〉 この建物の価値について、今まで建物そのものを見てもらう機会はあまりなかったもので、そこに目を向けてもらえるように、すっきりとした展示を目指し、上げ下げ窓やリノリウムなど、当時の魅力を100年先にも伝えていきたい。四郷地区があるからこそ近代化が図られたという、全市的な発展の礎を表す展示を増やししながら、新たなリニューアルへと進めるべく準備している。その中で1000点を超える展示品をそのまま戻してしまうと、せっかく復原できた役場の雰囲気損なうことになりかねない。すっきりとした展示を目指すことはそのままに、施設内にも収蔵庫を設けることに加え、そこから溢れた資料はどうするのか、保存会とも協議を重ねている。2階のスペースでは、1階で体験してもらった子どもたちが上がってきて集合できる場所としても活用できるように、工事してもらった。昨年度、当建物はガバメントクラウドファンディングで、全国から260件を超える方に670万円を超える寄付をいただいている。市内だけでなく全国的に発信できるように、シティプロモーション部が誇る文化財として活用できるように努めるので、またご意見いただきたい。

その他 意見なし。

4. 協議事項 (非公開)

5. その他 (非公開)

6. 閉会

〈事務局〉 令和5年度第1回四日市市文化財保護審議会を終わりとす。